

高知憲法速報

202 2009.6.18

発行:高知憲法会議事務局 088-872-3406

編集人 事務局 徳弘嘉孝

全国で「九条の会」が7,443組織に

6月2日全国草の根の九条の会の集計が発表されました。高知県は49とカウントされていますが、実際は50組織ですので、総数は増えることになります。北海道493、青森176、秋田46、岩手81、宮城109、山形96、福島105、東京900、埼玉383、茨城59、栃木37、群馬105、神奈川318、千葉337、山梨71、長野330、新潟90、石川82、富山36、福井33、静岡144、愛知312、岐阜90、三重45、大阪669、兵庫243、京都383、滋賀69、奈良64、和歌山84、岡山197、広島82、山口104、鳥取31、島根71、香川42、愛媛47、徳島131、高知49、福岡222、佐賀42、長崎36、熊本70、大分32、宮崎41、鹿児島59、沖縄28、その他153、分野16、合計7443 (憲法しんぶん速報版による)

「海賊対処新法」に反対する緊急集会に65人

6月16日昼休み、「海賊対処新法」に反対する緊急集会を高知市役所前で開き、急な呼びかけでしたが65人が参加しました。自治労連・細川野花さんの司会で、憲法会議・徳弘嘉孝事務局長が経過と基調報告。民青同盟の山本博永さんが青年を代表して決意表明しました。医労連の金子竜太書記次長が集会宣言を提案し採択されました。集会には高知県平和運動センター・山崎秀一議長から連帯のメッセージが寄せられました。集会のあと、中央公園までデモ行進しました。

(集会宣言を添付します)

核兵器廃絶のカギを握る日本の運動

スティーブン・リーパーさんの講演会より

6月6日、高知大学人文学部と高知大学経済学会の主催で「世界反核平和運動最新報告」と題する広島平和文化センター理事長スティーブン・リーパーさんの講演が行われました。講演要旨次の通り。

今人類は二つの課題に直面している。一つはどうやって我々の暴力をコントロールできるか。核兵器や枯葉剤、劣化ウランなどで、地球を住めないところにしてしまう危険とどう対処するかということである。チェルノヴィリの事故で200平方マイルには人が住め

なくなった。日本は51か所の原発を持っており、本格的な戦争をすれば放射能で日本中どこにも人は住めない。もう一つの課題はどうやって我々の根本的な生き方をコントロールするか。エネルギーを使い過ぎ、汚いものを出しすぎ、このままでは地球に人間が住めなくなる。石油も食糧も限られているのに、欲しい国が増えている。地球上で1日200円以下の生活をしている人が半分、100円以下の人がその半分、飢えて死んでいる人がたくさんいる。サンゴ礁や熱帯雨林がなくなり空気中の酸素の量が17%~15%に減っている。今の生活状況を続けているだけで環境は壊れる。この二つの課題を平和的に交渉してコントロールするか、暴力的に独り占めにするか、難しい分かれ道にきている。当面核兵器の問題を平和的に解決しないとすべての問題を平和的に解決できなくなる。来年のNPTをどうするかが大切だ。ヨーロッパはすごく動いているがアメリカと日本の普通の人々は意識していない。アメリカは軍事大国だがオバマ氏が大統領になって展望が出てきた。2005年のNPT再検討会議の失敗の後アメリカとインドが核の取引をした。これでNPTは死んだと思っている国もある。2010年を逃すと、イランは2年後に核兵器を持つ可能性があり、続いてサウジ、エジプトも核を持つことになるだろう。大きな紛争が起きると豊かな国もゼロになる。これを止める一番大事な国は日本だ。被爆国で憲法9条と非核3原則を持っている。日本は経済的にアメリカを支えており、アメリカが危ないことをしようとすれば止めなければならない。ヒロシマナガサキ議定書のようなものを日本が支持すればすべての国がついてくる。草の根の声が上がれば、意識を持つ政治家も動くことができる。少なくとも1000万の署名があれば、リーダーも動く。日本が動けば核保有国も反対できない。お金持ちは今のシステムが続くことを願っているが貧乏な人はお金持ちはいない、システムもいない。エリートたちは貧乏な人たちが核兵器を手に入れることを恐れ、核廃絶を言い出した。核兵器廃絶のチャンスが生まれた。戦争か平和か、天国か地獄か。鍵を持っているのは日本の普通の人だ。平和市長会議、生協、連合、原水協、原水禁いろいろなところで声を上げ日本人の声にしよう。

6月19日(金) 憲法会議街頭宣伝署名に参加してください。午後5:30~6:30 グリーンロード